

1 国語に関する調査

【特長】

- 情報と情報との関係付けの仕方や語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができた。様々な場面で、目的に応じた情報の整理の仕方を学ぶ機会を設けてきた成果だと考えられる。
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、大切なことを落とさないようにして伝え合う内容を検討することができた。

【課題】

- 文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題が見られた。日常的に、主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすることを大切にされた指導をしていく必要がある。
- 話し言葉と書き言葉の違いについての理解に課題が見られた。意見を交流する際に、聞き手や場面の状況を踏まえた発言になっているかなどを意識させる必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- 直方体を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、正しい見取図を選ぶ問題では正答率が高かった。
- 未知の数量を表す記号として口を用いて、問題場面どおりに数量の関係を、式に表すことがよくできた。

【課題】

- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題が見られた。日常生活の場面のデータをグラフに表し、そのグラフから特徴や傾向を捉え、見いだしたことを表現する活動を充実させる必要がある。
- 立体の体積の求め方を式に表す問題の正答率が低い。身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにする授業を充実させる必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 人が困っているときは進んで助けている、人の役に立つ人間になりたい、将来の夢や目標をもっていると肯定的な回答をしている児童の割合が高い。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと回答している児童の割合が高い。児童が地域や社会とのつながりを実感し、身の回りの課題を自分事として考えることができるよう、教師が粘り強く関わってきた成果だと考えられる。

【課題】

- タブレット端末など、ICT機器を活用して自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができると回答した児童が少ない。タブレット端末を活用して自分の考えや意見を伝える言語活動を充実させる必要がある。
- 自分で考え、自分から取り組んだり、考えがうまく伝わるよう工夫して発表したりすることに課題が見られた。主体的に学びに向かうことができるような指導を充実させる必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 主体的に学びに向かうことができるようにするために、「やってみよう」と思えるような学習課題の提示や、児童同士が学び合える環境づくりなどを工夫していく。
- 様々な教科の中で、自分の考えをまとめ、書く活動を積極的に行ったり、話し合い活動やインタビュー活動を行ったりして、話し手が伝えたいことや自分が伝えたいことを意識できるように引き続き取り組んでいく。
- 算数では、図や絵などを用いて問題の場面を自分で頭の中にイメージできるようにするために、自力解決の時間を十分に保障したり、児童同士の学び合いの場を充実させたりしていく。
- 相手を気遣い、優しい言葉遣いができるよう指導を続けていく。また、相手や場面に応じた言葉遣いができるよう日常的に意識して取り組んでいく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 学校生活を生き生きと送れるように、ゲームで遊ぶ時間やインターネット使用の約束等を決め、お子さんが朝食をとって登校できるよう、規則正しい生活を心がけてください。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと考えているお子さんが多いです。地域の行事等に積極的に参加し、地域の一員としての意識を育てていきましょう。
- 友だち関係や勉強のことなど、どのお子さんも不安を抱えていることと思います。お子さんが明るい未来を想像できるように、家庭でお子さんと会話する時間を大切にしてください。